

人生100年時代に与えられた20年を「Grace Age」と名づけます

“真の自己投資時期”を豊かにするため
Around50は先行き不安をリセットする 世代

人生100年時代 新しい人生設計を考える



Mother Age

10代後半～40代前半

異性に出会い母となる30年。恋愛・結婚・出産・子育てのひとつながりが、生活の大きなテーマになっている、“種を残すための”30年

Reset Age (Around50)

40代後半～50代前半

出産の可能性がなくなる更年期。身体に大きな変化が訪れ、親の老い、子どもの進路、夫や自分の就業形態の変化など様々な不安・悩みが押し寄せる

Grace Age

50代後半～70代前半

高齢化する現代社会によって、与えられた20年。子どもが育ちあがり、親を介護し見送り、健康・美容面で下降を感じる。自分のためにお金と時間を使える20年

Silver Age

70代後半～

日々の楽しみを充実させ、健康に、自立して暮らす＝子どもに迷惑をかけないことが大テーマ。健康・美容面、お金の面、人間関係でも、ここに至るまでの“蓄え”が決め手になる

美容・健康の衰え
老いの兆しへの怯え

親の高齢化
いつまで自立した生活ができるのか

自身の老後生活
老後資金、いくらあればいいのか

年をとっていくという現実を認めたくない、
見たくない、Around50クライシス

40代後半から50代前半の女性には、年齢特有の未来に対して3つの大きな不安がある。1つは、今まで経験したことのない体調の変化や加齢。2つ目は近づく夫の定年退職に年金制度や社会経済への不信もあいまって、老後生活資金への不安。そして3つ目は親の高齢化。加齢によって大事なものを失っていく喪失感に悩み、先の見えない変化に直面し、「現実を認めたくない、見たくない」「どうしていいかわからず先送り」な意識を昨年は明らかにした。

健康・美容、お金、楽しみを
自身のために蓄えていく20年がGrace Age

女性の一生を分解してみると、10代後半から40代前半は、パートナーと出会い子を産み育てる30年。そして転換期のAround50を過ぎ、後期高齢者と言われる75歳ころまでの約20年は、人生100年時代、現代社会によって与えられた20年といえる。子どもも育ちあがり親を見送り、自分に投資する時期。自分と夫の健やかで明るい生活、子どもに迷惑をかけないシルバーエイジに向けて、健康やお金を蓄えていく20年。私たちはこの世代をGrace Ageと命名した。

Grace Ageに向けたリセット期間
Around50へのアプローチ方法は？

Around50期は、明るく充実したGrace Ageを迎えるための準備期間。「変わり目」である今を客観的に捉え、次の年代に向けたビジョンを持つことで不安や悩みを乗り越えるリセット期間であることを提案していきたい。

ともすれば認めたくない、受け入れがたい「年をとる」情報を、どのように提供すれば受け入れやすくなるか…健康・美容、家計・暮らし、親の高齢化、3つのジャンルで探っていく。